

## 戦後教育と学力・学校（第二版）

92 - 100 加藤隆弘

昭和20年代（1945年～1955年）

戦前の「知識中心の注入主義的イデオロギー教育」への深い反省と、アメリカの進歩主義教育理論による「問題解決学習」の導入とから、基礎学力として伝統的に考えられてきた読・書・算の能力はむしろ周辺に追いやられ、問題解決能力こそ新しい時代の基礎学力と考えられる。

### デューイ「学校と社会」

- 1945年 終戦  
(20年) すみ塗り教科書  
修身・日本歴史・地理の授業停止・教科書回収に関する指令
- 1946年 アメリカ教育使節団来日  
(21年) 教育刷新委員会、教育基本法の制定の必要を決議  
(義務教育9年制・教育委員会設置など建議)  
『くにのあゆみ』
- 1947年 学習指導要領一般編（試案）  
(22年) 教育基本法・学校教育法公布  
新学制の小学校・中学校発足
- 1948年 盲聾哑児童就学義務規定  
(23年) 教育委員会法公布・第一回教育委員選挙  
コア・カリキュラム連盟結成（53年日本生活教育連盟と改称）  
小学校学籍簿に5段階相対評価法採用  
文部省、PTA結成を促す（'50年度までに小・中・高校の結成率98%）

### 世界人権宣言

- 1949年 教科用図書検定基準制定（絶対条件・必要条件）  
(24年) 国立学校設置法（新制国立大学69校）  
社会教育法公布  
私立学校法公布
- 1950年 レッドパージ  
(25年) 「日本綴り方の会」結成（'51日本作文の会と改称）  
文部省、祝日に国旗掲揚・君が代斉唱を進める文相談話を通達  
警察予備隊発足  
特需景気・朝鮮戦争
- 1951年 無着成恭編 『山びこ学校』  
(26年) 国分一太郎 『新しい綴方教室』……生活綴り方運動再興  
『学習指導要領一般編（試案）』改訂  
(中学に日本歴史復活など)  
遠山啓ら数学教育協議会〔数教協〕設立を呼びかける（'53年第一回大

会)

- \* マッカーサー解任「老兵は死なず」
- 1952年 教育科学研究会再建（『教育』'51年11月復刊）
- （27年） 日本子どもを守る会結成（『子ども白書』の）  
中央教育審議会〔中教審〕設置  
日本父母と先生全国協議会〔日本PTA〕結成大会  
日経連教育部会 新教育制度の再検討に関する要望 発表
- 1953年
- 1954年 社会科の指導計画に関する資料 通達（中学校に道德倫理の設置）
- （29年） 学校給食法公布（'56改正、中学校へ拡大）  
（このころ職場・地域で生活記録運動さかん）  
（第1会全国教育系学生ゼミナール）  
自衛隊（保安隊改組）
- \* ローマの休日

昭和30年代

この新しい基礎学力も十分身に付いていない上に、伝統的な読・書・算の能力も身に付いていないとの社会的批判が強まり、以後、読・書・算を含む系統的な知識・技能・思考が学校で育てられるべき能力として強調され始める。

- 1955年 日本民主党《うれうべき教科書の問題》
- （30年） 《高等学校学習指導要領一般編》改訂  
（ 試案 の2字消える。コース制採用など）  
小説《人間の壁》（石川達三）のもととなった事件  
\*この年、教師の実践記録多数刊行  
小西健二郎《学級革命》  
斉藤喜博《学級づくりの記》  
\*三種の神器（冷蔵庫・洗濯機・テレビ）
- 1956年 教科書調査官設置
- （31年） 日経連 新時代の要請に対応する技術教育に関する意見  
\*「もはや戦後ではない」、神武景気
- 1957年 人工衛星スプートニク1号**
- 1958年 越境入学抑止通達
- （33年） 小中学校 道德 実施要綱通達（週1時間）  
小中学校学習指導要領改訂案発表（官報告示、基準性強化）  
\*ナベ底不況、インスタントラーメン
- 1959年 文部省《わが国の教育水準》（初の教育白書）
- （34年） **児童の権利宣言**  
\*岩戸景気
- 1960年 高校学習指導要領改訂

- ( 3 5 年 ) ( 社会科に 倫理・社会 新設。進学組・就職組の区別など )  
遠山啓ら《水道方式による計算体系》( 数学教育現代化提唱 )  
\* 国民所得倍増計画 ( 高度成長計画 )
- 1 9 6 1 年 高校全入運動  
( 3 6 年 ) 理工系大学生増募計画 ( ' 6 4 年度までに 2 万人 )  
**全国一斉学力テスト**  
( 中学 2 ・ 3 年全員対象 )  
\* 女子学生亡国論
- 1 9 6 2 年 高等専門学校設置  
( 3 7 年 ) \* 大学文学部女子学生比率 3 7 %  
キューバ危機  
\* コカコーラ
- 1 9 6 3 年 能力開発研究所設立  
( 3 8 年 ) ( 大学進学希望者に学力・適性検査〔能研テスト〕実施、約 6 0 % 受験  
' 6 4 年 3 月東大、能研テストは当分入試判定資料にせずと発表、  
以後、多数の大学同調 )  
教科書無償措置法公布  
\* 「鉄腕アトム」
- 1 9 6 4 年 特殊教育振興方策 養護学校設置各県に要請 ( 障害児 1 0 7 万 )  
( 3 9 年 ) 文部省 集団行動指導の手びき 草案発表  
( 教練的秩序運動の復活として問題化 )  
東京オリンピック  
\* 東海道新幹線、「ひよっこりひょうたん島」

#### 昭和 4 0 年代

アメリカの教育内容の現代化の動きを受けて、日本でもかなり高度の知識内容を、発見学習的に学ばせようとした結果、40年代後半にはいわゆる「落ちこぼれ」の子どもが急に目立つようになる。

- 1 9 6 5 年 中教審 期待される人間像 中間草案  
( 4 0 年 ) I L O 教師の地位に関する勧告草案 国情にあわずと発表 ( 文部省 )  
家永教科書裁判開始  
文部省、在日朝鮮人子弟の学校教育につき通達  
( 民族教育推進の朝鮮人学校の各種学校不認可など )  
\* 高校進学率 7 0 % を超える  
\* 大学生数 1 0 0 万人突破 ( 1 0 8 万 5 千人、7 2 % が私大生 )  
\* 米軍ヴェトナム北爆開始  
\* 「サザエさん」
- 1 9 6 6 年 大学生の留年増加、問題となる  
( 4 1 年 ) 文部省、全教科実施原則撤回・内申書重視など通達

- 中教審、後期中等教育の拡充整備について 答申  
 (高校多様化強調、期待される人間像 は別記)  
 \* 3C時代(カー・クーラー・カラーTV)、電子レンジ  
 「ウルトラマン」「サンダーバード」「笑点」「ビートルズ」
- 1967年 地方教育公務員法・教育公務員特例法 教公2法  
 (42年) 教育課程審議会 小学校教育課程改善についての中間まとめ 発表  
 (社会科への神話・伝説の導入、国民性育成など)  
 理科教育および産業教育審議会 高校職業教育多様化を答申  
 (全日制普通高校に 理数科 設置)  
 \* リカちゃん人形ブーム
- 1968年 大学紛争このころ  
 (43年) \* シンナー遊び激増(サイケ)
- 1969年 中学校学習指導要領改訂  
 (44年) \* アポロ11号月面着陸  
 \* 「8時だヨ!」「5月病」
- 1970年 中教審 高等教育の改革に関する基本構想試案 中間報告  
 (45年) (教育と研究の分離。多様化、管理権限集中など)  
 福岡県立伝習館高校問題  
 国立国語研究所 幼児の言語能力に関する全国調査 発表  
 (4歳児の読めるひらがな平均34字。'53年度小学新入生と同じ)  
 \* 三島由起夫割腹自殺、大阪万博
- 1971年 小・中学校学習指導要領改訂(公害教育重視)  
 (46年) 小中学校学習指導要録改訂(評価段階への機械的人数割り当てを改める)  
**落ちこぼれ** 問題化  
 \* カップヌードル、マクドナルド、ドルショック、「仮面ライダー」  
 深夜ラジオ
- 1972年 日本経済調査協議会特別委員会 新しい産業社会における人間形成  
 (47年) (学歴偏重の反省、生涯教育の強調など)  
 内申書裁判(保坂展人)  
 文部省と自民党文教制度調査会、国立大学入試の共通学力テスト採用で一致  
 \* 列島改造、札幌オリンピック、パンダ、浅間山荘
- 1973年 \* オイルショック  
 (48年)
- 1974年 東京板橋区の2小学校でオープンスクール式の教室で授業開始  
 (49年) 文相に永井道雄就任  
 \* 高校進学率90%を越す(90.8%)

#### 昭和50年代

これを「教え込み」として鋭く批判したのがオープン・スクールの動きであり、日本で

は昭和50年前後から公立学校の中でも子供中心のオープン・エデュケーションを導入するところが出始めた。

このオープン・スクールの教育理念の中には、あくまでも子ども主体に考えて、その一人ひとりの個性の違いを見れば、全ての子どもに共通する学力というものを認めることが出来ず、各自が自らの基礎的教養を、その個性を伸ばす中で身につければよく、そしてそれは相互に異なったものであるとの考えがあった。

しかし、その結果、アメリカなどでは徐々に読・書・算の能力の低下が生じ始め、1980年前後から「基礎に帰れ」運動が展開し、1983年のレーガン大統領の時に公にされた『危機に立つ国家』では、新基礎教科として英・数・理・社・コンピュータ科学が全ての高校生に要求されることになった。

- 1975年 \* 大学・短大学生数200万を越す(女子学生数32.3%)  
(50年) \* 「およげ!たいやきくん」、「使い捨てライター」
- 1976年 文部省、業者テストの取り扱いにつき通達  
(51年) 教育課程審議会 小・中・高等学校の教育課程の基準改訂について 答申  
(授業時間10%削減、教科内容精選など)  
国連、国際児童年に関する決議  
\* 幼稚園・保育所合計3万2500人、5歳児の90%  
(幼稚園64.6%、保育所25.4%)  
\* **偏差値**、「記憶にございません」
- 1977年 名古屋の予備校河合塾、東京に開校  
(52年) ('79年、東京の代々木ゼミナール名古屋で開校)  
大学入試センター設置(共通一次試験問題の作成・採点など)  
小・中学校学習指導要領改訂案  
(教科内容・時間数削減、ゆとり 志向、小学校算数で 集合 削除、  
君が代 を国歌と規定など)  
\* 「ピンクレディー」「ロッキー」「モラトリアム人間」
- 1978年 高校学習指導要領改訂案  
(53ねん) (必修科目・単位削減、社会科に 現代社会 新設、  
習熟度別学級編成など)  
東京中野区議会、全国初の**教育委員準公選条例**可決  
\* 「インベーダーゲーム」「竹の子族」
- 1979年 第一回国公立共通一次試験  
(54年) 青少年自殺問題懇話会設置  
大蔵省財政制度審議会小・中学校40人学級見送り(12年計画に)  
\* 「ウオークマン」「PC8801」「3年B組金八先生」
- 1980年 文部省、指導要録改定を通知  
(55年) (小学校1・2学年は3段階評価。到達度評価を導入)  
\* このころから強化諸問題、論議盛んとなる。  
\* 川崎市で予備校生、金属バットで両親撲殺

- \* 校内暴力・家庭内暴力、問題化
- \* 「ピカピカの一年生」、「赤信号みんなでわたればこわくない」  
「ポカリスエット」、「ルービックキューブ」、山口百恵、松田聖子
- 1981年 東京高裁、体罰は懲戒権の範囲内とする。(水戸五中事件)
- (56年) 《防衛白書》(愛国新教育の必要を強調)
- \* 公文数学研究会、生徒100万人を超える
- \* 黒柳徹子『窓際のトットちゃん』、「オレたちひょうきん族」  
鳥山明『Dr.スランプ』
- 1982年 教科書検定国際問題化
- (57年) \* 「ET」、テレカ登場、500円硬貨
- 1983年 戸塚ヨットスクール問題(しごき訓練)
- (58年) \* 82年度高校中退者10万6000人(高校生の2.3%)
- \* 83年度高校進学率94%
- (27年ぶりに低下、以後3年連続低下)
- \* 東京ディズニーランド開園、「おしん」、「日本列島浮沈空母」
- 1984年 臨時教育審議会(臨教審)設置法成立
- (59年) \* 「かい人21面相」「エリマキトカゲ」「スキゾ・パラノ」新札発行
- 1985年 岐阜岐陽高校生、教師の体罰で死亡
- (60年) (このころ、教師の体罰問題化。各地で体罰絶滅の取り組み始まる。)
- 臨教審第一次答申
- (個性重視の原則など、'86年第2次答申、生涯教育重視など)
- 共通一次、'87年度から5教科5科目に削減
- 文部省、小・中・高校の入学式・卒業式における日の丸掲揚・君が代斉唱徹底を求める
- 文部省 児童生徒の問題行動実態調査 発表
- (いじめ・不登校激増、校内暴力鎮静など)
- \* 「スーパーマリオ・ブラザーズ」
- \* 阪神優勝
- \* 「投げたらアカン」
- 1986年 東京中野区富士見中学2年生鹿川君、いじめを苦に自殺
- (61年) ( 葬式ごっこ への教師の寄せ書きなど社会問題化)
- 臨教審、第二次答申
- (生涯学習体系、徳育、初任者研修制度など)
- 教育課程審議会 中間まとめ 公表
- (伝統文化・徳徳の重視、小学校低学年社会科・理科を廃し生活科を設置、  
中学校選択教科拡大など)
- \* 岡田有希子自殺
- \* 「亭主元気で留守がいい」、「おニャン子」

山住正巳『日本教育小史』岩波新書  
『教育キーワード137』時事通信社